学校番号	2002B

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形要素（色や形）のもつ効果を学習し、ものの見方と表現の基礎を作ります。観察して感じ取ったことを表現する絵画、目的や機能をもとに表現するデザインなど、美術の様々な分野を学び実践します。また、過去の作家や現代の作家の美術作品を鑑賞し、見方・感じ方を深めながら、美術の価値について考えます。
美術は主体性が重要な科目です。他者の表現を造形的に捉えて良さを感じる視点を持ちつつ、自分ならどう表したいかを考え、試行錯誤を重ねて主体的に表現活動をしましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	私の○○な手	手を見つめて感じ取ったことを鉛筆の明暗をもちいて表現し、基礎的な観察力と表現力を身につける。	a:主題を鉛筆の明暗で表現することができる。 b:主題を、鉛筆の明暗で表現している。 c:モチーフに興味をもち、主題を追及して表現しようとしている。	成果物、制作の様子、グレースケールのワーク	成果物、制作の様子、グレースケールのワーク	成果物、制作の様子
	新色開発クラブ	カラーカードを作成し、新色や新しい色の組合わせを発見する。 自分の中にある“色のイメージ”を掘り下げ、色を感じ取る力や色彩表現の力を高める。	a:　色の要素が人の感覚に与える効果を理解し、主題を表現することができる。 b:色の要素が人の感覚に与える効果を感じとり、イメージを創造的に表現している。 c:色の要素が人の感覚に与える効果に興味を持ち、主体的に鑑賞や表現に取り組んでいる。	ワーク、成果物、授業での様子	ワーク、成果物、鑑賞シート、ふりかえりシート	鑑賞シート、ふりかえりシート
後期	デザイン大喜利	主題をフォントや色、大きさなどの伝達効果を工夫して表現し、目的に応じた表現方法の違いを理解する。	a:主題をフォントや色、大きさなどの伝達効果を工夫して表現できる。 b:表現意図に合ったデザインを工夫して表現している。 c:　主題を表現しようとしている。	ワークシート、成果物	アイデアスケッチ、成果物、制作の様子	制作の様子、ふりかえりシート、鑑賞シート
	名画の奥行きを探せ	教科書等の名画作品の造形的な特徴をとらえて、全体のイメージや作風、様式感じ取り、半立体（レリーフ）作品として奥行きを工夫して表現する。	a:造形的な特徴や表現しようとしていることに興味を持ち、レリーフで表現できる。 b:　名画作品の造形的な特徴をとらえて表現している。 c:　名画作品の造形的な特徴に興味を持ち、レリーフ作品の制作に生かそうとしている。	ワークシート、成果物	アイデアスケッチ、成果物、制作の様子	制作の様子、ふりかえりシート、鑑賞シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度